黒尊の森
大黒山風景林マップ

大黒山風景林は、四万十市黒尊川流域の中央部に位置する国有林で、県境稜線から連なる標高700～1105mの山。アカガシ、シデ、ヒメシャラ、モミ、ツガなどの巨樹や老齢木からなる天然林。新緑、紅葉はもちろん、森歩きを楽しむ人を魅了します。

県境
こうち　えひめ

大黒山 1,105m

県境尾根

初夏にはオオルリの姿も、鳴き声もかならずきこえる

大峠トンネル
素掘りトンネル
注）通行止！

植物の魂は人間よりもはるかに位の高いところに存在するんだろうなあと感じさせる巨木。
我欲がない。

山頂は樹林に囲まれている。

幻の鳥 ヤイロチョウもやってくる♡

5月にはオンツツジやヤマシャクヤクの花に出会える。

ムササビ

ニホンカモシカの増加が深刻な社会問題となっている。
草木から農作物まで大きな被害をおよぼしている。
害獣として扱われているが人の命も獣の命も重さは同じ。お互いの命を尊重しあって共生できる森林生態系をとりもどそう。

とあり、奇妙にも、アオシシとよばれてカモシカがすんでいたという。

26支線

アオバト

新緑の季節には周辺一帯が緑色に染まる

車の運転に注意

先人の植えたヒノキ

西谷林道

森の中の生きものの いのちが天に昇るとき 森の空に虹がかかるという

人工林

姫の園

ヒメシャラ（森の貴婦人）

篠山が見える

アカガシのあらはだをしきつめた尾根

眺望

出井越え

人工林、天然と成ったり植林した跡

はな、白花あり

シャクナゲ群生
照葉樹林の森の道

大黒雲水峡

滑石に注意

空気の粒が見えるせせらぎ

せせらぎくん

松川の原水点にうまれている

河野新道

崩壊地からは大黒山の天然林の全容がみえる。

危険標識に注意

松川口登山口

森の精が出てきそうな緑豊かな手つかずの天然林が広がっている

リカの大木のこずえにいるかも

横生えヒノキ
ランドマークだ

松川山
859.6m

未舗装。走行注意
デコボコ道

樹液や木の葉腐植土森の香りがただよう

広い尾根
大黒原

人工林

枯れ日のゆらめきが気持ちをやわらかくしてくれる。

自然の中におったらなんだかワクワクしてくる。

アカガシやヒメシャラのカゴノキなどの広葉樹とモミツガの針葉樹が混合。とても多様な植生

携帯電話アンテナ基地

未整備

遠足コース

子どもの頃遠足で登ったなつかしい思い出の山。

カタツムリ（スーパーミミズ）
落葉土をつくる土壌のはらわただ!!

土の中の生き物の働きが森を育てている。

広道

国民参加の森づくり協定

円弥佗野登山口

協定の名称
黒尊天然林・大黒山生物多様性の森

鉄則
山に入ったら、無事に家まで帰ること

黒尊には森林軌道やインクラインの跡も残る

西土佐やまもりーずが四万十森林管理署と多様な活動の森協定により大黒山の整備を行なっている

力強い巨木の生命感やひそやかな生き物の息づかいを感じられる森

天然林の森はとても気持ちがいい。しかし、枝枝の落下や倒木、落石、ハチ蜂など危険も多い。十分に注意して安全な山歩きを楽しもう

森の中に浸っていると日々の心みごとの束縛を忘れさせてくれる。

大黒山山頂下の"姫の園"はゆったりした広くてなだらかな尾根にヒメシャラが群生。春にはリョウブやヤマシャクヤクなどかれんな花の精に出会える。対岸の目黒島屋などの山並みも望むことができる。

女郎口

黒尊

五社神社に祈りを捧げる前に身心のけがれをはらい清めた神聖な川

はらいかわ
祓川

祓川五社神社

黒尊スーパー林道

晩秋、紅葉の黄色が山里を彩る。

黒尊神社

杉の大木が林立する見晴らしの良い石段。

口屋内大橋～鍛冶屋 16km
鍛冶屋～松川登山口 6km
松川登山口～円弥佗野登山口 2km

親水公園

至中村

至四万十市 R440

夏は川遊び

公民館

森林事務所

鍛冶屋

大黒山…黒尊目黒と「黒」が呼応する一帯の奥座敷にそびえている。
黒とは砂鉄成分の黒雲母を指すとの説も。鉄分が川辺の生き物を育む栄養分となり、西土佐の供給源にもなっている。

山の日制定
黒尊の誇りであり、営みのよりどころである山々。
山を守っていくためには、山に関心を持ち続けることが大切。
8月11日が「山の日」に制定された。
山の恩恵に感謝し、山に親しむきっかけのひとつ。山へ足を運ぼう。

四国の水辺ハナハナ所
平成の名水百選に選ばれている黒尊川は、大雨が降っても泥にごりになることなく流れる。
それだけ周囲の山々がしっかり根を張り土砂の流出を防いでいるからだ。

11月中旬
錦織りなす山もみじ 2014.11